

科 目 名
-------

<b>医療経済論</b> <b>Health Economics</b>
---

4年 後期 1単位 必修

瀬 尾 量

### 概要・目標

わが国の社会保障制度を知り、それを取り巻く医療経済の現状を理解する。また、医療社会における薬剤経済学の重要性を認識し、薬剤師、自らが果たすべき役割を理解するとともに医療経済学の視点から行動目標の設定、問題解決への方針決定ならびに具体的判断・行動ができる基本的な知識と思考過程を習得する。保健医療と経済の関わり、病院および薬局経営戦略等を検討することにより、望ましい医療システムのあり方を洞察する能力を涵養する。以上、公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障するしきみを理解するために、社会保障制度と薬剤経済の基本的知識と技能を修得する〈C18(2)〉。

### 授業計画

- (1) 医療経済の基本概念〈C18(2)-3-1~6〉
- (2) 社会保障の内容と問題点〈C18(2)-1-1~4〉
- (3) 国民医療費の内容と動向〈C18(2)-3-1〉
- (4) 医療保険と診療報酬〈C18(2)-2-1~3〉
- (5) 病院・薬局の経営戦略〈C18(2)-1~3〉
- (6) 医療システムの現状と問題点〈C18(2)-1~3〉
- (7) クリニカルパスとリスクマネジメント〈C18(2)-1~3〉

### 授業方法

プリント、パワーポイントを使用し講義する。適宜、関連の国試問題も織り交ぜる。

### 評価方法

筆記試験、出席状況、レポートにより総合的に評価する。

### 教 材

プリントを適宜、配布する。

- 参考書 兪 炳 匡：「改革」のための医療経済学、メディカ出版、2006（¥1,900）  
唐鎌直義 ほか：どうする！ あなたの社会保障①「医療」、旬報社、2007（¥1,300）  
白濱伸也 ほか：「病院の業務」まるまる改善、日本医療企画、2006（¥2,800）  
笠原清明：「新」調剤薬局の経営と会計、エヌピー通信社、2006（¥2,400）